

**神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会  
第1回ワーキング  
議事概要**

事項	神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 第1回ワーキング 議事概要	出席者	20名 (随行者・事務局除く)
日時	平成26年9月12日(金) 14:00~16:00	場所	センタープラザ西館6F 9号室
内容	<p>1 開会</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>(2) 出席者紹介</p> <p>2 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会</p> <p>(1) 設置について(設置要綱、公開要領)</p> <p>(2) 総合治水条例について</p> <p>(3) 策定スケジュールについて</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地域の概要</li> <li>・総合治水の基本的な目標</li> <li>・総合治水の推進に関する基本的な方針</li> <li>・河川下水道対策</li> <li>・流域対策</li> <li>・減災対策</li> </ul> <p>4 その他(連絡事項)</p> <p>5 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>【資料1】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 設置要綱</p> <p>【資料2】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 公開要領</p> <p>【資料3】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画について</p> <p>【資料4】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画策定スケジュール</p> <p>【資料5】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(概要版)</p> <p>【資料6】 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画 説明資料</p>		

**1 開会**

神戸土木事務所より開会のあいさつを行った。

事務局より、構成員の紹介を行った。

**2 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会**

**(1) 設置について(設置要綱、公開要領)**

事務局は、【資料1】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 設置要綱」の説明を

行った。

事務局は、【資料2】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 公開要領」の説明を行った。

(県構成員) 設置要綱ではワーキングの開催を東部と西部の2ブロックに分けて行うこととしていたが、検討段階で両ブロックの明確な相違が見られないことから、今後は1ブロックとして開催することとしたい。要綱を改訂するつもりである。

(全員) 異議無し。

## (2) 総合治水条例について

事務局は、【資料3】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画について」の説明を行った。

## (3) 策定スケジュールについて

事務局は、【資料4】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画策定スケジュール」の説明を行った。

# 3 議事

## (1) 神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画(概要)

事務局は、【資料5】【資料6】により「神戸(表六甲河川)地域総合治水推進計画」の説明を行った。

### 主な意見

(県民構成員) 宇治川を心配している。昭和13年の阪神大水害で川を替えた生田川があふれるようになった。大きな予算をかけて改修しても、また別の川があふれるイタチゴっこである。生田川は改修しないのか。県の予算はどうなっているのか。

(座長) 宇治川はこれから河川整備計画を策定する。事業費は国の補助を受け、国・県・市で1/3の割合となるが、予算は河川整備計画が策定した後に確保する。

(県民構成員) 避難場所を周知する必要がある。新たに入居してきた人や外国人観光客などにも周知することが大事である。

(県民構成員) 先月の台風11号で新湊川の水位が2.5m~3m位まで上がった。護岸は5m位あるので大丈夫だが、土砂で川が埋まるのを心配している。天王谷川の祇園神社の周辺になぜ家が建っているのが理解できない。1軒でも崩れれば絶対に橋をとめてしまう。

(県民構成員) 石井ダムから石が転がってきている。撤去できないものか。

(事務局) 明らかに洪水の流下に支障になるものは優先して撤去するが、数が多いのでなかなか対応が難しい。

(県民構成員) 学校などの公共施設や道路の下にトンネルを作って貯めることが有効と思う。お城は周りに堀を作って防衛している。同じような考えである。

(県民構成員) 妙法寺川はこんなに浸水するのか。

(座長) 浸水想定区域図は妙法寺川の改修前のものであり、現在は解消されているものと思われる。

(市構成員) 妙法寺川の改修は市の事業でやっている。これから国道2号の橋梁を架替え、その後JRの橋台を改修する。その後、現在ダイエー付近まで改修しているものを上流へ延伸してい

く予定である。

(県民構成員) 広島で土砂災害が発生したが、神戸で「これくらいの雨までは大丈夫」といった指標はあるのか。

(座長) 河川は1時間雨量で80ミリ位までは流せるように改修している。土砂災害と洪水ではメカニズムが異なるので一概には言えない。

(県民構成員) 神戸では防災福祉コミュニティが活動している。防災訓練の実施や要援護者の支援方策を考えている。昭和13年の阪神大水害では土砂が川の中を埋め尽くした。治山も大事である。また、避難情報を円滑に提供して欲しい。

(座長) 計画には国、市と協働して実施しているグリーンベルト事業についても取り込む予定である。

(県民構成員) 都賀川の長峰のダムは20m位の高さがあるが、現在は満砂状態になっている。

(座長) 砂防ダムは土砂が貯まっても撤去しない。

(県民構成員) 広島は花崗岩が風化した真砂土であるような災害が発生した。六甲も同じ地質なので心配している。対策して欲しい。

(座長) 緊急点検を行う予定である。

(市構成員) 今までの対策で良かったのか、これからどう対策していくかの見直しを行う予定である。

(座長) 総合治水の認知度を向上する方法はないか。

(県民構成員) 防災福祉コミュニティから要望すれば、出前講座を実施してもらえるのか。

(座長) ひょうご防災リーダー講座によるリーダー育成も行っているし、県OBからのアドバイスで地域防災マップづくりも手伝える。いつでも声をかけて欲しい。

(県民構成員) 消防と連携して防災福祉コミュニティが機能している。今ある組織を活用することが大事である。

(県民構成員) 防災福祉コミュニティの会合などに来る人は、殆ど70歳以上である。若い世代にも参加して欲しい。小学生や中学生を集めたイベントを行うことで保護者が参加してくれるが、学校が反対するケースが多い。良好なコミュニティを作ることが大事である。

#### 4 その他（連絡事項）

(事務局) 10月16日に第1回協議会を開催する。第2回協議会は11月中旬、第3回協議会は12月中旬を予定している。

#### 5 閉会

神戸(表六甲河川)地域総合治水推進協議会 第1回ワーキング出席者一覧

(順不同、敬称略)

属性	委員氏名	主な役職	出欠	代理人氏名	代理人役職
兵庫県 神戸 県民センター	樋口 俊光	神戸土木事務所 所長補佐(企画調整担当)	出席		
	前田 優夫	神戸土木事務所 副所長	出席		
	田村 健	神戸土木事務所 河川課長	出席		
	河野 豊	県民交流室 室次長兼企画防災課長	代理出席	細野 泰	県民交流室企画防災課 課長補佐
神戸市	原 正太郎	建設局下水道河川部 河川課長	出席		
	吉本 幸宏	建設局下水道河川部 保全企画担当課長	出席		
	三木 敦史	危機管理室 計画担当課長	出席		
	中森 秀	東灘区役所 総務課長	代理出席	木村 浩	東灘区役所 総務課 調査係長
	三谷 忠弘	灘区役所 総務課長	出席		
	小松 信彦	中央区役所 総務課長	出席		
	雲丹亀 章	兵庫区役所 総務課長	出席		
	伊藤 雄祐	長田区役所 総務課長	代理出席	田村 和弘	長田区役所 総務課 調査係長
	小林 史明	須磨区役所 総務課長	出席		
	岩見 賢治	垂水区役所 総務課長	出席		
県民	渡辺 利信	(東灘区) 住吉川清流の会会長	出席		
	大森 未弘	(灘区) 河原自治会長ほか	出席		
	後藤 實	(中央区) 生田自治連合会長ほか	出席		
	中井 未治	(兵庫区) 菊水地区防災福祉コミュニティ委員長ほか	出席		
	渡邊 攝子	(兵庫区) 湊山地区防災福祉コミュニティ委員長ほか	出席		
	岸本 圭吉	(長田区) 番町地区防災福祉コミュニティ本部長	欠席		
	佐々木 利雄	(須磨区) 大黒地区防災福祉コミュニティ本部長	出席		
	岡松 治利	(垂水区) 垂水区自治会連絡協議会会長	出席		

議事録確定署名人

座長: 神戸土木事務所 所長補佐(企画調整担当)

神戸土木事務所 副所長

樋口 俊光  
前田 優夫